

SSH だより

第4号



東京都立日比谷高等学校

SSH課題研究Ⅱの授業の一環として、9月21日(水)~23日(金)に沖縄派遣研修が、10月14日(金)~15日(土)に、伊豆大島フィールド実習が行われました。今回は、その様子をお伝えします。また、これで得たことを含め、SSH課題研究Ⅱの授業成果報告を2月に行う予定です。

沖縄派遣研修

9月21日(水) 8:50

羽田空港出発
一路沖縄へ

最初の訪問先は、**沖縄開発水産養殖研究センター**

サンゴ礁の保全と養殖についての講義を受け、その後、サンゴの養殖体験と海の生物(カメ、ナマコなど)の観察を行いました。



次に訪れたのは、**琉球大学工学部千住研究室**

外断熱効果を利用したゼロエネルギーハウスを見学後、研究室所属の大学院生4名のエネルギー問題についての研究発表をききました。4名のうち2名の方は、海外からの留学生で、英語でのレクチャーでした。



やんばる学びの森(泊)1日目は海の環境とエネルギーを考える研修でした。夕食後は星空観察。天の川も見え、皆感動していました。

9月22日(木)

朝食後、現地ガイドの方の案内で、**やんばる学びの森**内の亜熱帯フィールドへ。沖縄固有の動植物の観察を行いました。



環境省 **やんばる野生生物保護センターウフギー自然館**

館内展示の見学と『やんばるの自然を100年残すには』というテーマで2組に分かれてグループワークを行いました。どちらのグループも、外来種対策と交通事故などによるロードキル問題について議論していました。



午後からは、**美ら海水族館**へ『ウミガメと環境問題』というテーマで、レクチャーを受け、美ら海水族館を各自で見学しました。レクチャー終了後、熱心に質問をする生徒もいて、参加者全員が‘非常に満足’と答えたプログラムでありました。



名護(泊)
この日は、生物多様性と生態系の保全を考える一日でした。

9月23日(金)

最終日はまず、**辺野古周辺のじゅごんの里**へ。名護市議会議員の方から、米軍基地移設問題と環境保護問題についてのお話を伺いました。



この日の研修テーマは『沖縄の産業と基地問題』。以下の場所を見学し、東京に帰ってきました。

JAXA 沖縄宇宙通信所 黒糖工場
道の駅かでな(展望台・学習展示室)



大島フィールド実習

伊豆大島は、まさに生きている地球を体感できる自然に恵まれたフィールドです。今回の実習の目的は、火山地形や植生遷移、自然災害に対する防災などを学ぶことにありました。

1日目は、数メートル先が見えない濃霧の中での実習になりました。三原山の全景が見えず残念でしたが、火山活動によって生み出された溶岩流、スコリア原において、火山の特徴的な地形や砕屑物などを観察したり、噴火年代の違う溶岩流やスコリア原での植生の違いを比較したりすることで、地球のエネルギーや生物の逞しさを実感することができました。



2日目は、大島をバスで一周回りながら、1986年の割れ目噴火口や古い火山の残骸である筆島、噴火の歴史を物語る地層大切断面などを観察し、伊豆大島誕生からの歴史を学びました。また、火山博物館では、1986年における三原山噴火の記録を様々な資料から学ぶことができ、自然災害に対する防災についても知ることができました。大島は、火山や地震の災害の他に、台風や豪雨による災害が多く発生しています。今年の夏にも大島は台風による被害を受けましたが、その時の体験談を現地の住民(大島海洋高校の先生)に聞くこともできました。自然から多くのことを学べた実習でした。